

平成 26 年 11 月 13 日 00196 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【柔道情報】合同練習

11 月 3 日(月・祝)に北見市武道館道場1を会場に、北見なかざわ塾柔道少年団と、北見柏陽高校・北見工業高校を中心とした高校生との合同稽古が行われました。稽古は、午前 9 時 30 分から開始され、午前中が高校生との合同練習が行われ、乱取りや形の稽古が行われました。お昼を挟んでの午後からは、柏陽高校と工業高校の両柔道部による稽古と練習試合が集中した面持ちで行われました。



## 【北見市武道振興協議会情報】記念誌編纂委員会開催

北見市武道振興協議会創立 20 周年記念事業の一環で発行される、創立 20 周年記念誌の発行予定日が着々と迫る中、第1回となる記念誌編纂委員会が 11 月 18 日(火)の午後 7 時 00 分から北見市武道館研修室にて開催されます。内容は、記念誌に寄稿して頂いた方々の寄稿文や協議会の歴代役員名簿、武道8団体のあゆみを記した沿革や記念年表などの校正作業やその他資料の集計などが行われる予定です。

## 【弓道情報】弓道初心者教室がいよいよ始まります

いよいよ来週となりました。11 月 18 日(火)の午前 10 時 00 分より、北見市武道館弓道場にて弓道初心者教室が開催されます。対象は高校生以下を除く北見市内在住の方となりますが、経験は問いません。弓道具はお貸しいたします。他の武道をやっている方や全くの初心者でも構いませんので多くの参加をお待ちしています。詳しいお問い合わせは北見市武道館受付(0157-57-3842)までお願い致します。

## ～お詫び～

先週号記載記事で一部誤りがありました。紙面にて訂正してお詫び申し上げます。

誤：『南中学高 3 年生の青木一馬』 正：『南中学校 3 年生の青木一真』

## 連載 中国「老子」の思想 八十章 わが桃源郷

国は小さく、人口は少ない。たとい人並すぐれた人材がいようと、腕のふるう余地がない。住民はすべて生命を大切に、遠くへ足を伸ばさない。船にも車にも乗る必要がなし、武器も使い道がない。文字を書いたり読んだりするごさかしさを忘れて、ひたすら現在のままの衣食住に満足し、生活を楽しんでいる。手の届きそうなく隣の国とも、絶えて往来しない。

これが、わたくしの理想郷である。

〈人並すぐれた人材〉原文は「<sup>じゅうはく</sup>什伯之器」。各種の便利な器具類(王弼)、十人頭、百人頭となり得る才人(蘇鉄)、兵器(踰越)など、解釈は多様に分かれている。

〈文字を…忘れて〉原文は「繩を結びてこれを用いしむ」。文字の使用される以前の時代では、繩に結び目を作って記憶のたすけにするのが、世界共通の現象であった。「約を結ぶ」ということばも、この習慣から生じたものである(約束とは、もともと結び目の意味)。

原文:小國寡民、使有什伯之器而不用。使民重死而不遠徙。雖有舟楫、無所乘之、雖有甲兵、無所陳之。使民復結繩而用之、甘其食、美其服、安其居、樂其俗。鄰國相望、雞犬之聲相聞、民至老死不相往來。最終八十一章に続く